

# しい実

No.132

令和8年  
3月1日発行

## 岐阜県手をつなぐ育成会 会報

～手をつなぐ育成会は知的障がいのある人とその家族、支援者の会です～

### 椎の実ギャラリー



〈段ボールアート〉  
清水 友理さん



〈怪 獣〉  
清水 一範さん



〈夏の葉〉  
竹内 裕俊さん

### NPO法人 Bee.フレンズ レインボータイム

NPO法人Bee.フレンズは、宿泊型生活訓練「ポータルスペース」と地域活動支援センター「レインボータイム」の事業を行っています。「レインボータイム」では、活動的な内容の他に、様々な講師による創作活動を行っています。



〈鬼のお面〉  
石田 将士さん



〈福笑い〉  
横山 大貴さん



〈絵手紙〉  
池辺 哲さん

### 132号の主な内容

- 育成会ってなあに
- 大会報告・活動紹介
- 障がい者110番
- 地区活動紹介

- 私の町のきらり人
- わかりやすい制度のおはなし、就労支援
- 知ってほしい 私たちのこと
- ぎふのいいもの(社会福祉法人みらい)

表紙の作品募集中！あなたの作品の写真を送ってください。採用された方には、記念品をプレゼントします。

## 育成会ってなあに？

岐阜県手をつなぐ育成会理事長 岬ノ下久美子

障害者支援施設「県立はなの木苑」(指定管理者：社会福祉法人岐阜県福祉事業団)で一昨年発生した入所者に対する虐待事案に関して、岐阜県手をつなぐ育成会は障害のある人の権利擁護団体として、運営事業者及び管理責任者(岐阜県)に対して支援体制の改善要求と今後このような事案が発生しないための社会的環境整備の必要性に対する声明文を公表しました。(声明文と趣旨は育成会のホームページをご覧ください)

この事案は今回虐待を受けた当事者だけではなく、他の入所施設の利用者や在宅者など私たちにとっても大きな衝撃でした。2025年12月に第三者検証委員会による報告書(岐阜県のホームページに掲載)が公表されたところです。

障害のある家族を施設に預けたからと安心して手を離してしまっていないですか？多くの支援者は本人により良いサービスを提供したいと思っています。支援者任せにしないで、本人の希望(意思決定支援)に沿った支援をしていただいているか確認したり、計画の見直しをするなど相談支援専門員とコミュニケーションの時間をとっていただきましょう。

岐阜県手をつなぐ育成会としても施設や障害福祉サービス提供事業所の在り方検討会に参加するなどを行っています。今後も育成会は行政や福祉機関と連携をとりながら、知的障害のある人が地域で本人らしく生活できるよう活動します。県内5圏域から理事さんを選出いただいていますので、お住いの地区から選出されている理事さんを通してご意見をお聞かせください。

今回は令和7年度から新たに理事に就任された方をご紹介します。

### 岐 阜

#### ●林 廣隆

社会やニーズが変わるなか、話し合い情報交換をすることによって、持ち得る最高の努力をし子供たちと皆様が安心できるより良い環境作りを応援したく存じます。その為、皆様の知識をお借りできればありがたく存じます。

#### ●塚本 信子

岐阜市手をつなぐ育成会の塚本です。

皆様と一緒に、育成会の在り方を見つけていこうと思っています。よろしくお願いいたします。

### 西 濃

#### ●宮野 卓二

今年度、岐阜県手をつなぐ育成会の理事になりました宮野卓二と申します。私は大垣特別支援学校のPTA会長を令和5年、6年の2年間務めました。

PTA会長として知的障がいのある児童・生徒さんと関わる中で障がいのある人たちのために微力ながらもっと力になればと思いました。また、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が過ごしやすい社会になることを何よりも願っています。私個人的には自分よりも障がい者優先をモットーに力を入れて頑張りたいと思います。会社勤めなので、育成会活動全てに参加はできないとは思いますが、少しでも障がいのあ

る方の力になれるよう頑張りますので、どうかよろしくお願いいたします。

#### ●山室 清香

西濃でお世話になっております、山室清香です。愛知、三重の県境まで車で10分位の所に住んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 中 濃

#### ●原田 恵子

『関市手をつなぐ育成会』の原田です。今年度より『岐阜県手をつなぐ育成会』の理事を務めます。地区会員と県をつなぐ役割として活動してまいります。よろしくお願いいたします。

#### ●坂井 由実子

美濃加茂市に住んでいます。手をつなぐ育成会は子供の困りごと、心配なことを解決したり、将来を考える事ができる会だと思います。私も勉強しながら理事を頑張りたいです。

### 飛 騨

#### ●野村 義治

兄弟姉妹の会の中で妹を見てきましたが、両親が他界し、保護者として接する事になりました。グループホームから通所していますので、環境の違いはありますが、兄妹の立場での考えを活動に反映できればと思います。

## 大会報告

## 第57回 手をつなぐ育成会 東海北陸大会 富山大会

令和7年10月5日(日) 新川文化ホール

知的障害のある本人の社会自立に向けて

～知っておきたい、考えたい、始めたい～



「第57回手をつなぐ育成会東海北陸大会・富山大会」が10月5日に富山県魚津市で開催されました。式典の後、又村あおい氏の中央情勢報告をお聞きしました。その後、シンポジウムが開催されました。シンポジウムでは、開催地の富山県育成会の県内全体で“親から地域社会へのバトンタッチ”を合い言葉に取り組んでいる仲間同士での勉強会の流れを汲みながら、障害のある人自身の社会自立をめざし、「知っておきたい、考えたい、始めたい」ことについて現状を共有し、これからを考える機会となるよう、「暮らしの場」、「引継ぎ」、「安全」という視点でお話をさせていただきました。

参加された方からの報告と感想を紹介します。

おめでとうございます

表彰 手をつなぐ育成会東海北陸大会富山大会



鵜飼 厚志さん

私が何かをしたと言う事は無く、皆さんの代表で頂いたと思っています。まだまだ分からない事ばかりなので、少しずつ勉強していきたいと思えます。

さて、大会での私の印象深かった事は、法律が変わっても、地域でそれが出来る状況に有るのか？と言う事です。

段取り八割と言われるぐらいに段取りが大事だと思います。市役所の福祉課に、どうなってますか？と聞くのも良いかもしれませんね。先ずはどんな法律が有るのか知らないといけません・・・

待っているだけでは誰もやってくれませんから、皆さん一人一人が、少しでも行動してみませんか？

その為にも、こういった大会や講演会に参加するのは有意義だと思います。本人大会は、歌って踊って、皆とても楽しそうでした。来年の東濃大会でも、歌って踊って、楽しく過ごして貰えると思いますので、皆さん参加して下さいね。

### 富山大会に参加してきました (多治見地区手をつなぐ親の会)

令和7年10月5日、6時50分早朝出発、19時帰着の日帰り強行軍で富山大会に行ってきました。当初は20名でしたが体調不良の方があり17名の参加になりました。

バス代の高騰と、運転士さんの勤務時間の制限があり、富山市内でゆっくり買い物もできず、本当に弾丸ツアーになってしまいましたが、どなたも不平を言われず少し安堵しました。



### 又村あおいさんの中央情勢報告から

松田 あさみ

#### グループホーム (GH) からの卒業支援

一人暮らし等を希望する人への「卒業」(退去)支援が2024年から法定化されました。GHは住まいの場なので、自動的に全員を対象とするのではなく、あくまでGHを出て一人暮らしなどを希望する人に限定されます。一人暮らしを実現するために、GHの支援に「いわゆる卒業支援」が加わるとのことです。

このことに私は少し驚きました。息子は「ゆくゆくは兄たちのように一人暮らしをしたい」という希望があるからです。地域生活支援体制がどこまで整備されているかによっては、荒海に投げ出すようなものではないかと心配しています。私たちが住む地域で、支援体制が整備されて行くことを注視していく必要があると思いました。

### 富山育成会より松の木プロジェクトの冊子から学んだ事をお話します

池戸 友恵

#### 障がい者の幸せとは？ それは親から離れて社会自立を目指す事。

子どもへの過保護過干渉は子の自立を阻害し、年齢があがれば親との別居が難しくなる現実があります。親亡き後問題は自立問題が重要な事と受け止めました。親亡き後も地域で生きていけるを得ないからです。

私事ですが、この夏に仕事帰りに駅で長時間バスを待つ息子を暑い日だけ迎えに行くつもりが、夏が終わった今もあたりまえのように迎えに行ってしまう、子の自立を願いながら親が子離れできず…先々の子どもの為に自立の準備をはじめたいと思います。

## 本人大会



第1部会 みんなでダンス！みんなでたのしもう！

第2部会 わたしたちの「暮らし」を語ろう！

第1・2部会合同 みんなでわくわく！たのしもう！



## 障がい者110番 研修会

## 発達障害の適応とミスマッチ

～不登校・ひきこもりなど～

令和7年11月30日

かかみがはら支援学校

講師 いかわクリニック院長 井川 典克先生

今回の講演は不登校やひきこもりについて悩んだり困ったりしている家族や支援者に、障害の理解や支援について一緒に学ぶ機会になるよう企画しました。参加者65名のうち半数が学校職員や福祉関係者で、支援者も共に学びたいという姿勢を感じました。

講演では、発達障害と傷つき体験の誘因から始まり「不登校」「いじめ」や「ひきこもり」についての適応の具体的なアプローチを分かりやすく話してくださいました。

参加者の感想から抜粋（たくさんの感想をもらいました）



## 保護者・育成会員の声

- ①早期から子どもに伝えていくこと、子どもが望むことのどこまで許してどこは譲らないかの線引きを教えてもらった。
- ②不登校でひきこもりでも長い目で見て焦らず付き合っていくのが大事だと思った。
- ③頭では分かっているが毎朝「休むか休まないか」のやり取りに疲れてしまう。あらためて子どもの心に寄り添う大切さを実感。あせらず根気よく向き合っていきたい。
- ④具体的な子供との関り方、親の在り方、ゲームの付き合い方などもっと聞きたかった。
- ⑤この子にとってこの関りはどんな意味や将来どう影響していくだろうかと考えた。
- ⑥医療の立場から実践に裏付けられた明快な話で参考になり、すぐ役に立ちそうなことがいくつもあった。



## 教員・福祉関係者の声

- ①今までの知識で分かっていないことを知ることができた。これからの生活にあせらず少しずつ取り入れていきたい。
- ②はっきりした根拠に基づく話は説得力があり指針を貰った。
- ③傷つき体験によって成長過程を逆行し自分の世界に閉じこもってしまうということがわかった。
- ④ゆっくり時間をかけて本人がトラウマへの対応の仕方や自分の弱みを理解し共感的な態度で本人と話し合いを重ねていくことが大切とわかった。
- ⑤気持ちを受け止めるところと譲らないでこちらの指示を出すところの境界があいまいで難しく感じていたところが明確になった。
- ⑥幅広い年代の人と関わっている先生の話は現状を納得することが出来た。また早い段階からはどのような支援をすべきかを教えてもらった。



## 地区活動紹介 下呂市手をつなぐ育成会の活動について



下呂市手をつなぐ育成会は、下呂市の合併前の旧益田郡5町村の障がい児者の保護者が昭和50年代に設立し活動してきました。現在は、会員が高齢化し若い保護者の方たちの入会も少なく、独自の活動が大変になっています。また、会員の半数が、入所施設の会員ということもあり地域での活動が思うようにできない現状です。そんな状況の中でも下呂市や各関係団体等と連携して、各種制度等の情報の研修会、学習会を実施し会員への普

及、地域の皆様への理解を深めるための努力をしています。また、育成会の県の大会、東海北陸大会には、多くの会員の方に参加していただけるようにバスを準備して行っています。

数少ない地域の活動の中で、市内の障がい者の就労事業所と、市の障がい者自立支援協議会が主催し毎年1回開催されている障がい児者の「ご家族の集い」に、下呂市手をつなぐ育成会も当事者として運営に参加させていただいています。本年で6回目のこの催しは、普段感じている我々家族の思いを同じ思いを持つ仲間や、それを支援する福祉関係者、行政担当者と話をすることにより、少しでも気持ちが楽になることや、市の福祉行政を考えるきっかけになることを目的に開催されています。毎回、親達が今までの子育ての経緯や、将来についての不安を話されてきました。本年は、12月6日(土)の午後に開催されました。

内容は、前半は講演会で、下呂特別支援学校の小学部に通学している児童のご両親から「子供と家族の今までの歩みと、我が子の将来と親の願い」という題目でお話をいただきました。その後今まで利用された支援についてと、今後必要になる支援の内容等について、それぞれの支援機関の紹介があり支援内容等について職員から説明されました。



後半は、7～8人のグループに分かれ意見交換会を行いました。グループのメンバーは、半分ぐらいが保護者で、他には支援機関の職員、行政職員、支援学校の先生が入られている意見が述べられました。

保護者の中には、育成会の会員以外の若い人たちもたくさん参加されていて、各種支援について、初めて知った、参加してよかったという意見を言われる方もおられ、ぜひ育成会に参加をとお願いしておきました。

この「ご家族の集い」は、我々保護者にとって、有意義な会でありますので、今後も長く続けていきたいと思えます。

# 私の町のきらり人 Vol.13

あさのしんじ

## 浅野信治さん

岐阜県手をつなぐ育成会 岐阜地区理事

就労支援A型「eパック」各務原事業所勤務・「グループホームえむ」入居  
各務原市育成会 大谷 弘

### 浅野さんと私

浅野さんとは20年程前に知り合いました。家族3人暮らしてでしたが、やがてお父様が他界。お母様から後見人利用の相談を受けたことをきっかけに、お母様が元気なうちに無理のない形で親なき後の準備を進めることになりました。お金の管理が苦手でその他の必要性は低いので後見人ではなく社会福祉協議会の金銭管理の利用から始めました。また、将来お母さんと一緒に暮らすのが難しくなる時のために、グループホーム（以下GH）の生活をスタートしました。それを機会に金銭管理もGHに移すことにしました。

お母さんにはGHの生活を実際に見ることで親なき後のことをイメージして安心されています。今では浅野さんはGHの生活が楽しいと言って実家にはあまり帰らずお母さんを寂しがらせています。



休日は障害のある人ない人が共に楽しむサロン「みっぱらくック」の参加や、育成会の日帰りバス旅行、東海北陸大会の1泊旅行など出かけることを楽しみにしています。漢字の読み書きは苦手ですが東海北陸岐阜県大会ではGHの管理者と何度も練習をして舞台上で決議文を発表しました。周りには相談支援員、A型事業所の責任者、GHの管理者や世話人、育成会の仲間、仕事の仲間、そして「たいせつなお母さん」など支えてくれる人がたくさんいます。そして毎日を安心して楽しく暮らしています。

仕事は忙しいですが、毎日楽しく働いています。休みの日にはよく出かけます。バスや電車に乗ることが好きで育成会の旅行をいつも楽しみにしています。今まで文字を読むことが苦手でしたが、ひらがなの勉強をして読めるようになりました。

浅野さんは活発で協力的な人です。グループホームでは率先してなんでも手伝ってくれて仲間や友達がたくさんいます。各務原シティマラソンには、アイデアを凝らして仮装で参加し、特別賞をもらいました。

グループホームえむ  
世話人 高牟禮さん

会社を休むことなくいつも仕事に全力で取り組んでいます。忙しい時はみんなを引っ張ってくれます。和やかで明るい浅野さんの周りにはみんなが集まり楽しく会話をしています。これからも身体に気を付けて一緒に働きましょう。

A型事業所eパック  
サービス管理責任者 佐藤さん

### お詫びと訂正

椎の実 131号「私の町のきらり人(伊藤幸枝さん)」の文中に誤りがありました。1行目 〈誤〉私はB1手帳所持者です。⇒ 〈正〉私はB2手帳所持者です。伊藤幸枝さんには大変ご迷惑をおかけしました。お詫びして訂正いたします。

## みんなの 学校

Vol.4

## かかみがはら支援学校

令和7年4月に移転開校の市立特別支援学校です。前身は、昭和61年開校の市立各務原特別支援学校（知的障がい対象、高等部のみ）です。かかみがはら支援学校は、小・中・高一貫、知的障がい、肢体不自由、病弱のある児童生徒を対象とする総合型の特別支援学校です。新たな校名の「かかみがはら」には、ひらがな表記にすることで低学年の児童も親しみをもち、広く全国に発信できるようになってほしいという願い、また、「支援学校」には、「特別」ではない支援が自然にできる学校になってほしいという市民の願いが込められています。

### 本の森

児童生徒が学部を超えて本に親しむことができる開放的な空間です。簡単な言葉や絵文字、写真などを使って読みやすく作られた「LLブック」などがあり、校外の児童生徒にも貸し出します。



本の森

### ひばり喫茶・食品加工室

食品加工室では、高等部の生徒が卒業後の社会参加・自立に向けた学習の一環として、ケーキやクッキーなどの焼き菓子を作って販売します。また、定期的に「ひばり喫茶」を営業し、地域の皆様などをお客様に迎えて、接客の勉強をします。



ひばり喫茶・食品加工室

### スヌーズレン室

スヌーズレンとは、児童生徒が視覚、聴覚、触覚などを使って刺激を感じ取り、自分自身のペースで自発的に選択し、楽しむための活動です。1970年代後半にオランダで発祥し、現在では、多くの特別支援学校でも授業に取り入れられています。本校では、専用の機器を備えた部屋を設け、日常的に授業に取り入れられるようにしています。

### 医療的ケア室

胃ろうなどの医療的ケアが必要な児童生徒のために、安心・安全にケアが受けられる専用の部屋を設けました。複数の看護師が常駐し、医師の指導のもとに医療的ケアが実施できる体制を整えています。

### 屋内温水プール・ジャグジープール

天候や気温の変化に関係なく水泳の授業ができる25mの屋内温水プールを設けました。水の刺激が苦手な児童生徒も安心して入ることができます。隣には、低学年や障がいの重い児童生徒が利用しやすいように設計した温水のジャグジープールも設置しました。

# わかりやすい制度のおはなし

将来の自立にむけて、あるいは家族の手が足りない時に  
こんなサービス使ってみませんか

支援学校  
卒業後の  
進路について

## 就労選択支援事業が2025年10月から開始されました！

学校を卒業後の進路の選択肢として一般就労（企業）や福祉的就労（就労継続支援事業B型やA型・就労移行支援事業所など通所系の福祉事業所）などがあります。

本人にあった就労先を選ぶための支援として在学中に作業所内で実習を行いアセスメントを受けます。

それらを参考にし、本人により適した支援をしてくれる事業所はどこかなどの助言を受けられる福祉サービスが就労選択支援事業です。現在福祉的就労をしている人も利用することができます。

以前からある就労移行支援が、障がいのある人々に就労に必要なスキルを身につけ、一般企業への就労を目的としているのに対して、就労選択支援事業は、本人の状態をよく見て、本人に適した就労先を見つける手助けをするという意味で、より本人に寄り添う支援と言えるかもしれません。

### 就労継続支援ってなあに？

就労継続支援の違いについてみてみましょう。

#### 就労継続支援A型・就労継続支援B型の比較

	就労継続支援A型	就労継続支援B型
雇用契約	あり	事業所との利用契約
対 価	給料（最低賃金以上を保証）	事業所の売り上げや作業時間に応じて工賃として支給される
勤務時間	週20時間以上が目安	事業所の開所時間内（短時間から可能）
年齢制限	原則18歳以上65歳未満	原則18歳以上、上限なし

#### A型

ある程度の時間、継続して働ける体力や集中力が求められます。一般就労に必要なルールやマナーなどが身につくように支援も受けられます。

#### B型

卒業後すぐには難しいけれど支援を受けながら就職を目指す人、就職してリタイアしたけれど自分のペースで作業を続けている人など、障害の特性や本人のペースに配慮を受けながら働く場となっています。

#### 生活介護

日中の活動の場として、障がい支援区分3以上（50歳以上では区分2以上）の人が対象で、簡単な作業や体操、レクリエーションなどを行ったり、生活の支援を受けることができます。

### どうやって選べばいいの？

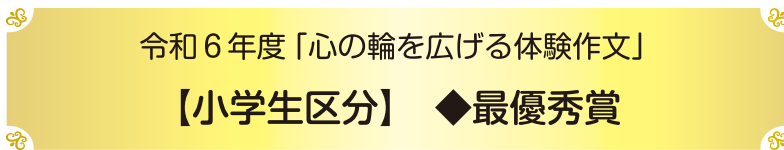
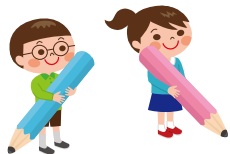
まず、自分はどうのような生活が向いているのかを考えましょう。  
毎日、決まった時間に仕事に出かけることができますか？  
同じ仕事をコツコツと続けることができますか？  
ほかの人とコミュニケーションをうまくとることができますか？  
自分が得意なこと、苦手なことをよく考えて、どんな暮らしがしたいかを想像してみましょう。無理に苦手なことを頑張ろうとすると長続きしません。  
次に事業所をたくさん見学して、自分に合っているところを探しましょう。  
作業の内容、作業の時間、通勤方法など、詳しく聞いてみましょう。

### 生活の中で大切にしたいこと

よく好きなことを仕事にしたい、とか得意なことを仕事に活かしたい、と聞きますが本当にそうでしょうか？  
多くの人は、生活のためには多少嫌な仕事も我慢して取り組み、休日に好きなことや趣味の活動をしてリフレッシュしています。障害のある人も同じように、仕事と休日の活動のメリハリは大切なのではないでしょうか。  
もちろん、どんな暮らしがしたいのかは一人一人違います。どんな暮らし方をしたいのか、何を大切にしたいのか、よく考えて就労先を選びましょう。

# 知ってほしい 私たちのこと vol.19

内閣府 令和6年度入賞の作文をご紹介します。(転載の許可をいただいております。)



わたし ねが  
「私の願い」

茨城県立つくば特別支援学校5年(当時)

うすい ちおり  
白井 千織

「待てー！負けないぞ！」

鬼ごっこ。友達を追いかける私。誰の力も借りずに遊ぶ自分の姿をいつも夢に見ていた。

四年前、珍しい病気の私は、お母さんの付き添いで近所の学校に入学した。お兄ちゃんやいとこたちのいる学校に通いたかったからだ。二年間、お母さんは仕事を休んで毎日学校に来てくれた。三年生でようやく付き添いはなくなったが、学校生活は課題が多く、学校に行くのが辛くなった。四年生に進級した時、特別支援学校に行こう、と自分で決めた。決心した後は、心が軽くなった。

転校まであと三ヶ月というある日、お母さんが私に聞いた。

「ちーちゃん、今の学校でやり残したことはないの？」

「鬼ごっこ・・・。」

どうせ無理だろう、と思いながら小さな声で言った。それに対して、お母さんは私がそう言うだろうと知っていたかのように、

「よし！その願い、叶えよう！」

と迷わず、笑顔で答えてくれた。私はびっくりしたのと同時にうれしくて、ワクワクした。

お母さんはその日から、学校の先生や病院の先生、同じ学年のお母さんたちにたくさん相談をしてくれた。そして、車いす大運動会を行うことが決まった。種目は、パラバルーン、鬼ごっこ、リレー。これらは幼稚園から学校生活の中でやりたかったけれど私だけでできなかったことだ。危ないから、という理由でやらせてもらえず、悲しかった。ほぼ見学で、本当はみんなと一緒にやりたいのにどうしてできないのだろう、どうしてこんな体なのだろう、と後ろ向きに考えることばかりだった。しかし、今回は参加者みんな車いすに乗って行うことになった。一緒に運動できるなんて初めてで、考えただけでも楽しくて、毎日その日を指折り数えるようになった。幼稚園の先生、支援級の先生や支援員さん。学校でお世話になった担任の先生達。学級の友達や車いす仲間。あっという間に参加者が五十名以上になった。本当にありがたかった。

三月一七日、当日。これまで運動会といってもあまりなかったソワソワした気持ちで、早起きしてしまった。

車いす運動会の会場に入ると、障害の有る無しに関わらず、これまで私に関わった人達がたくさん集まっていた。

「ちーちゃん！頑張ろうね！」

「負けないからね！」

感じたことのない競争心が自分の中でわき上がっていた。いよいよ始まる。

一番心に残ったのはリレーだった。みんなコーンのカーブで苦戦している。直線も左右にふらふらしていた。私はこれまでスタート地点に立ってもドキドキしたことはなかった。いつも付き添いの人が押してくれるので、自分の力は勝敗に関係なかった。大人が押すときは特に、気を使ってビリになることが決まっていた。でも今日は違う。よーい、というかけ声はこんなにきん張するものなんだ、と思った。私のライバルは車いす仲間だった。それをみた友達が「すごい！どうやったら速くなるの？」

と言ってくれた。学校も学年も違うけれど、私の学校の友達と車いす仲間が車いすの操作を教え合いながら鬼ごっこを始めていた。私は関わりが生まれたことがとても嬉しかった。

その後のバルーンもできる動きを曲に合わせて行うことができた。先生のかけ声で、当時の様子が目に浮かんだ。今はみんなの笑顔の輪の中で、私も一緒にできている。

こんな夢のような時間のおかげで、私は自信を持って転校することができた。もっと障害の有る人と無い人が自分らしく一緒に過ごせるイベントや環境があれば良いと思う。それが私の次の願いだ。そのために私は、障害の有る人と無い人のかけ橋になりたい。

(原文のまま)

### 障害者110番研修会のお知らせ

## 「どうする!?親なき後のお金と住まいの準備と対策」パート2

講師 社会福祉士・ファイナンシャルプランナー  
 岐阜県手をつなぐ育成会前理事長 春見 鉄男氏  
 日時 令和8年3月1日(日) 10時00分より  
 場所 多治見市総合福祉センター 4F 大会議室  
 主催 岐阜県手をつなぐ育成会  
 共催 多治見地区手をつなぐ親の会

### 令和8年度 第68回 岐阜県手をつなぐ育成会総会 及び東濃大会

日時 令和8年7月4日(土曜日) 午後  
 場所 セラミックパークMINO  
 〒507-0801岐阜県多治見市東町4-2-5  
 TEL 0572-28-3200

### 編集後記

生活介護施設に通う38歳の息子と、仕事が休みの娘とズル休みの私で平日に遠出することが、この頃の楽しみです。

「親なき後」を思う時、お金も大事だけれど、それ以上に息子にとっては家族で共に過ごした「思い出」を残すことが彼の支えになると、育成会の研修で話されました。

さぁこんどはどこへ行こうか?

親子ともに楽しめるうちに、たっぷり「財産」を増やしていきたいです。(永田ルミ)

## 会員募集中

下記の連絡先へ  
お問い合わせください

困りごとなど  
お気軽にご相談ください。

### 岐阜県手をつなぐ育成会 (事務所開所時間 平日9時~16時)

〒500-8309  
 岐阜市都通2-2  
 岐阜市民福祉活動センター 1階  
 TEL 058-253-8062  
 FAX 058-254-9210  
 E-mail ikuseig@alpha.ocn.ne.jp



# 障害のある方向け総合保険

あ!それうちかも  
と思った方

#### 入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

#### 賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

#### 相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

#### 障害のある方とご家族へ

### ぜんちの あんしん保険

- ・病気とケガにしっかり備える
- ・告知不要
- ・障害者手帳不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉付き)

#### 特別支援教育を必要とされている方へ

### ぜんちの こども傷害保険

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

**ぜんち共済株式会社**  
 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階  
 URL: <https://www.zkyosai.com/>

関東財務局長(少額短期保険)第14号

**0120-322-150**

平日9時~17時 土日・祝日・年末年始を除く

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

# ぎふのいいもの

岐阜県内の事業所で障害のある人たちがつくっている「いいもの」をご紹介します



生ドーナツ

焼き菓子



木工品

## 社会福祉法人みらい

社会福祉法人みらいでは、平成15年の開所から、地域のニーズに応えながら事業所数を増やし、各種サービスを展開してきました。現在では、多治見市と可児市で合計6サービス種9つの福祉事業所を運営しています。

その中で就労継続支援B型を提供している事業所は3カ所あります。けやき、第2けやき、けやき可児です。これらの事業所では、様々な自主製品やサービスを販売提供していますので、紹介させていただきます。

けやきでは、クリーニング事業をはじめ、お弁当や焼き菓子などの製造販売を行っています。特に焼き菓子は多治見市のふるさと納税返礼品でご好評をいただき、多くのリピーターの方から支持されています。

第2けやきでは、木工品の製造販売を行っています。糸鋸で精密な漢字なども切り出す技術を持った利用者が在籍し、無垢素材無塗装の自然な風合いの置物などを作っています。レーザー加工機を導入致しましたので、各種企業や官公庁の名やロゴなどの刻印も可能です。

けやき可児では事業所と可児市役所で喫茶店を営業しています。モーニングやランチ以外にもデザート用に生ドーナツの製造販売も行っています。

### ■問い合わせ先

社会福祉法人 みらい

住所：〒507-0827 岐阜県多治見市平和町6丁目364番地

電話：0572-22-1011 FAX：0572-22-0911

E-mail: keyaki-mirai@abelia.ocn.ne.jp



この会報は赤い羽根共同募金の配分金によって発行されています。